

平成20年11月28日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

第5回 21世紀文学部フォーラム
「漱石文学の水脈 - 東アジア文化圏の視点から」を開催します。

熊本大学文学部では、研究活動の一端を市民の皆様にお伝えすることを目的としたフォーラムを開催いたします。

今年2008年は、夏目漱石による旧制五高ゆかりの小説『三四郎』(1908年)が、東京・大阪の両「朝日新聞」紙上に発表されてちょうど100年目を迎えます。

今回のフォーラムでは、本学の前身の旧制五高と関わりの深い文学者である漱石について、漱石の文学が日本を含む東アジア文化圏においてどのように受け入れられ、またどのような影響を与えてきたかというテーマをめぐってシンポジウムを行います。

つきましては、広く一般の方に周知していただきますよう、よろしく願いいたします。

記

【日 時】平成20年12月13日(土) 14時~17時

【場 所】 放送大学熊本学習センター 第1講義室 (黒髪北地区; 附属図書館南棟)

【テーマ】 漱石文学の水脈 東アジア文化圏の視点から

[発表]

14:10~ 「漱石と『白樺』以後 連続と不連続」
坂元 昌樹(熊本大学文学部准教授)

15:00~ 「響き合うテキスト 豊子愷文学と漱石」
西槇 偉(熊本大学文学部准教授)

16:00~ 「漱石から楊逵へ 増幅する"知"の戦略」
蕭 幸君(台湾・東海大学文学部准教授)

司 会: 濱田 明(熊本大学文学部准教授)

申込不要、参加費無料です。

詳細は、熊本大学ホームページに掲載しています。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

~お問い合わせ~

熊本大学文学部杉谷研究室 TEL: 096-342-2829

同 西槇研究室 TEL: 096-342-2457